

これまでのケイ素umoの濃縮液は「純水」を使って製造してきまし... 改良版はケイ素の効... 果を最大限発揮させる... ため科学的な働きを持... った「生体機能水」を採... 用しています。

ケイ素の効果を最大限に高める結合水 を応用した「生体マトリックスumo」

このことでさらに安定性の高い多重層ミセルコロイドの構造を実現... これにより年月が過ぎると崩れやすい分子集団を安定化させることが出来... ました。構造が異なる... と、身体への吸収効率も... 変わってきます。

水溶性ケイ素の需要の高まりを受け、弊社では4年前からケイ素umoの改良に取り組みで参りました。現状の原料でもエビデンスだけではなく独自の製法によりケイ素粒子を三重層のミセルコロイド状態にするこ... とで他社の珪素原料とは差別化は十分にできていました。

てきたのです。そして今年、冒頭でお話しした通りおよそ4年の歳月をかけて開発してきた「生体マトリックスumo」がついに完成し既に世界中へ出荷が開始されています。改良点の大きなポイントでは吸収率が従来に比べて高まったこと。吸収が高まったことで体感も格段に良くなりました。

より生体に機能する珪素を目指して「生体マトリックスumo」へ改良が成功

植物由来ケイ素の危険性がケイ素市場の崩壊をもたらす危機

近年では弊社のような水晶体など鉱物からケイ素を抽出する以外に、粉殻やスギナなどの植物からケイ素を抽出した水溶性ケイ素も流通しています。一言にケイ素と言っても栄養素として体内に吸収される安全で機能性のある「非晶質シリカ(ケイ素)」と、発がん物質ともなりかねない体内に入ることが危険な「結晶性シリカ(ケイ素)」があります。

日本珪素医学学会など多くの専門家が警告していますが、最近増えている植物ケイ素においては消費者はもちろん販売者までもが植物安全という誤認識をしていますが、植物珪素は安心安全ではなく珪素の基本は結晶性シリカなので、鉱物植物に関わらず非晶質シリカになっているというエ

他社製品との比較(実態顕微鏡観察)

Table with 2 columns: 生体マトリックスumo, 他社A, 他社B, 他社C. Each cell contains a microscopic image of the silica particles.

生体マトリックスumoには六角構造の粒子がはっきりとみえているが他社のケイ素には同様の構造がみられない

1年後の経時変化

Table with 4 columns: 生体マトリックスumo, 他社A, 他社B, 他社C. Rows show '開始時', '1年経過', and 'コメント'.

非晶質エビデンス

Test results and evidence for amorphous silica, including a certificate and a graph showing absorption rates.

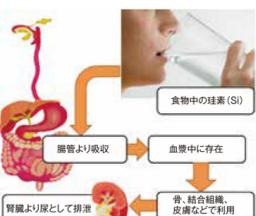
ピデンスの取得を各原料メーカーに推奨し販売者への正しい教育も行い、ケイ素全体の市場がさらに成長していくことを願っています。

ケイ素の仕掛け人



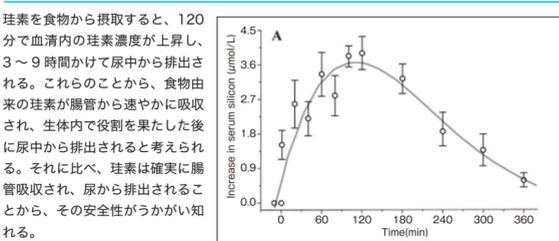
APA コーポレーション 代表取締役 岡田 憲己氏

今では300億円ともいわれるケイ素(シリカ)市場。約20年前に日本で初めて独自製法の水溶性珪素umoを開発し同素材の国内シェア9割を占めるAPAコーポレーションの代表取締役岡田憲己氏にケイ素の持つ美容健康力について話を伺ってきました。



ケイ素の機能性に着目し食事では不足しがちなケイ素を水溶性ケイ素で補う

およそ20年前ケイ素の機能性と将来性に着目し、健康素材の原料として研究開発を進めてきたのが弊社APAコーポレーションです。ケイ素は地球上で最も豊富に存在する物質で「シリカ」や「シリコン」とも呼ばれています。シリカは工業や産業に欠かせない素材である一方、実は人体にも非常に重要な役割を持つ物質でもあるのです。ケイ素は私たちの骨や髪、皮膚、爪、血管に存在しており健康や若さを司る必須ミネラルの一つで「美のミネラル」とも呼ばれています。



ケイ素を食物から摂取すると、120分で血清内の珪素濃度が上昇し、3~9時間かけて尿中から排出される。これらことから、食物由来の珪素が腸管から速やかに吸収され、体内で役割を果たした後に尿中から排出されることから、その安全性がうかがい知れる。

ケイ素の先駆者として産学連携によりヒト試験や多くのエビデンスを取得



水溶性珪素umoパウダーの溶解テスト... 試験結果 沈殿することなく、ほぼ溶解状態となり60分後の珪素含有量は287ppmを計測。

近年、ケイ素の美容健康効果が知られるようになり、サプリメントや飲料水、化粧品など製品化が進んでいます。弊社がケイ素を健康食品の原料として研究開発をスタートさせたのは、まだまだケイ素の健康効果は未知の領域でした。そこで、原料として市場に出すために注力したのがエビデンスです。弊社ではこれまでケイ素の美容健康効果を7大学や医療機関と提携してエビデンスを積み重ねてきました。ケイ素のもともとの物質は不溶性です。しかしサプリメントとして体内に吸収させるには水溶性化されていることが必須です。そのため国内産の水晶体を2000度の高温で焼き、ガス化したケイ素を回収し抽出する独自製法で水溶性を実現させました。このようにして誕生したのが「水溶性ケイ素umo」と呼ばれる原料です。水溶性ケイ素には粉体原料もありますが、

Advertisement for Kei-sou (Silica) raw material supply. Includes text: 'ケイ素 珪素(シリカ)原料供給します', 'ヒト試験完了', 'ハラール認証取得', '原料シェア90%', and details for a symposium on September 30th.